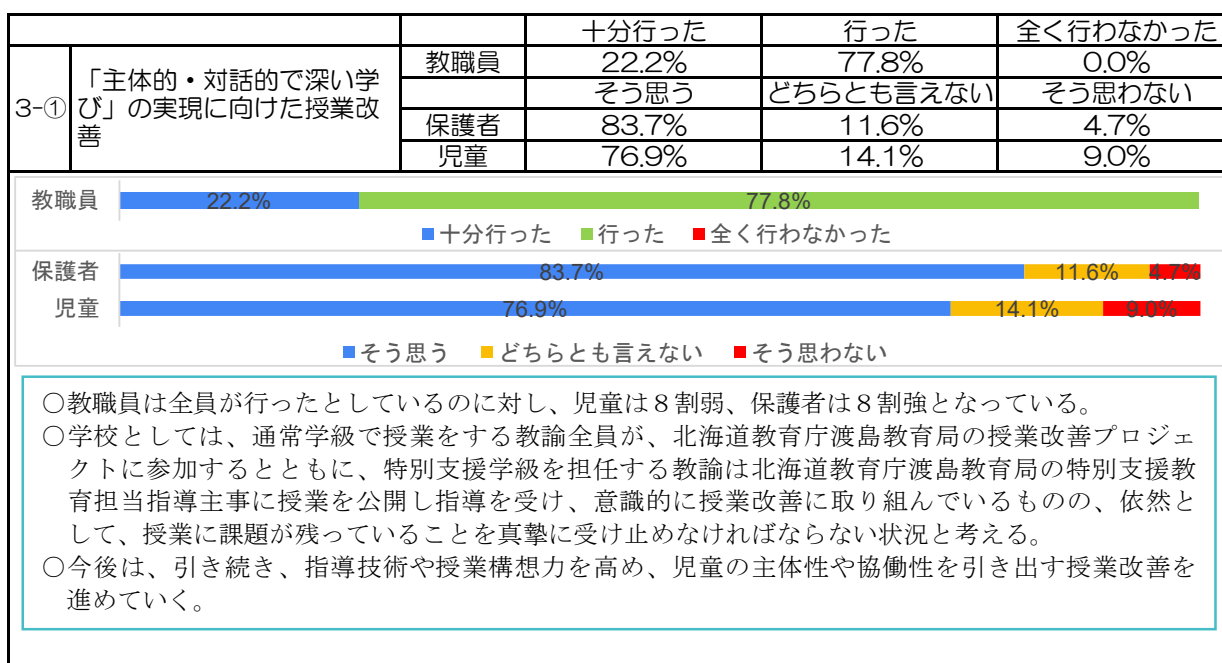
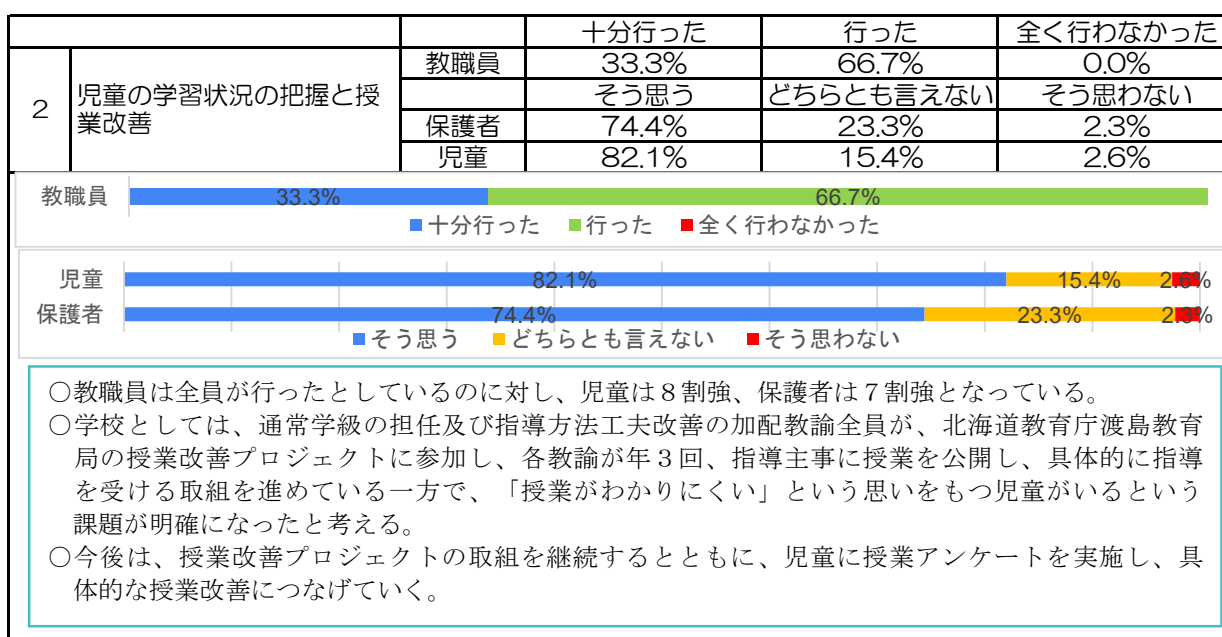
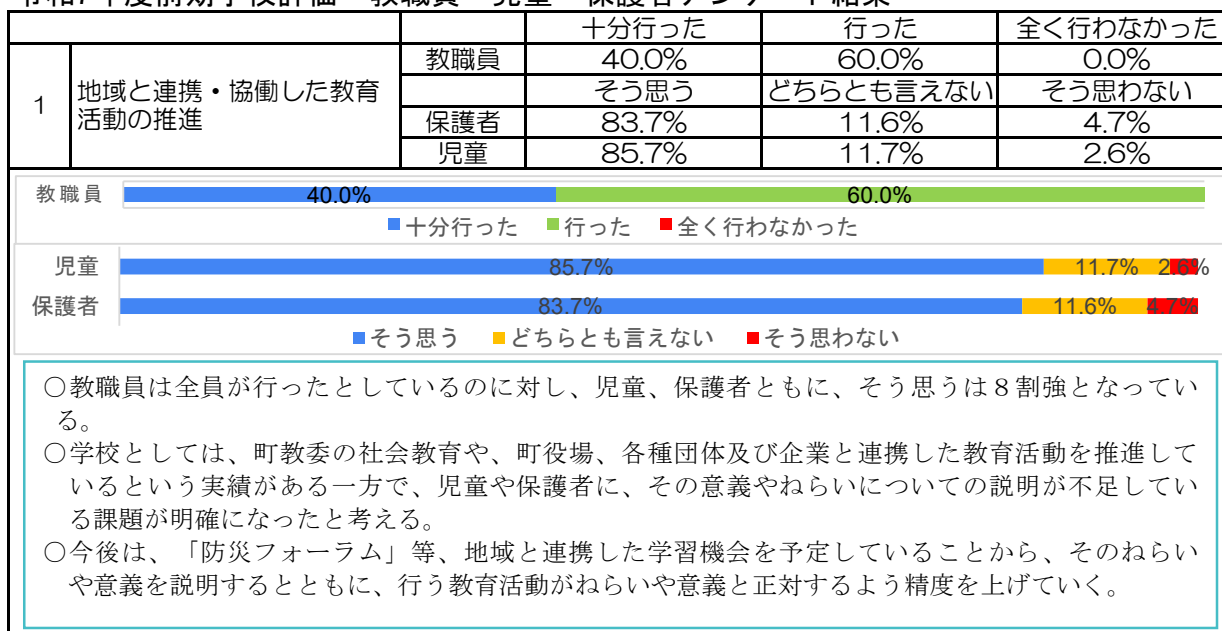
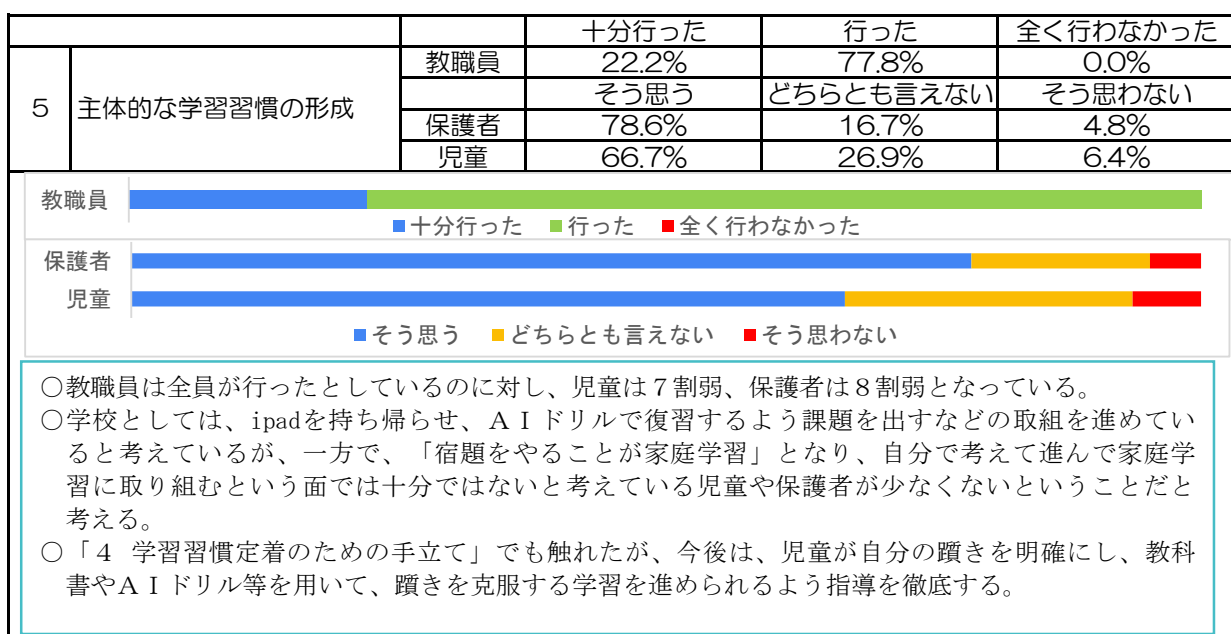
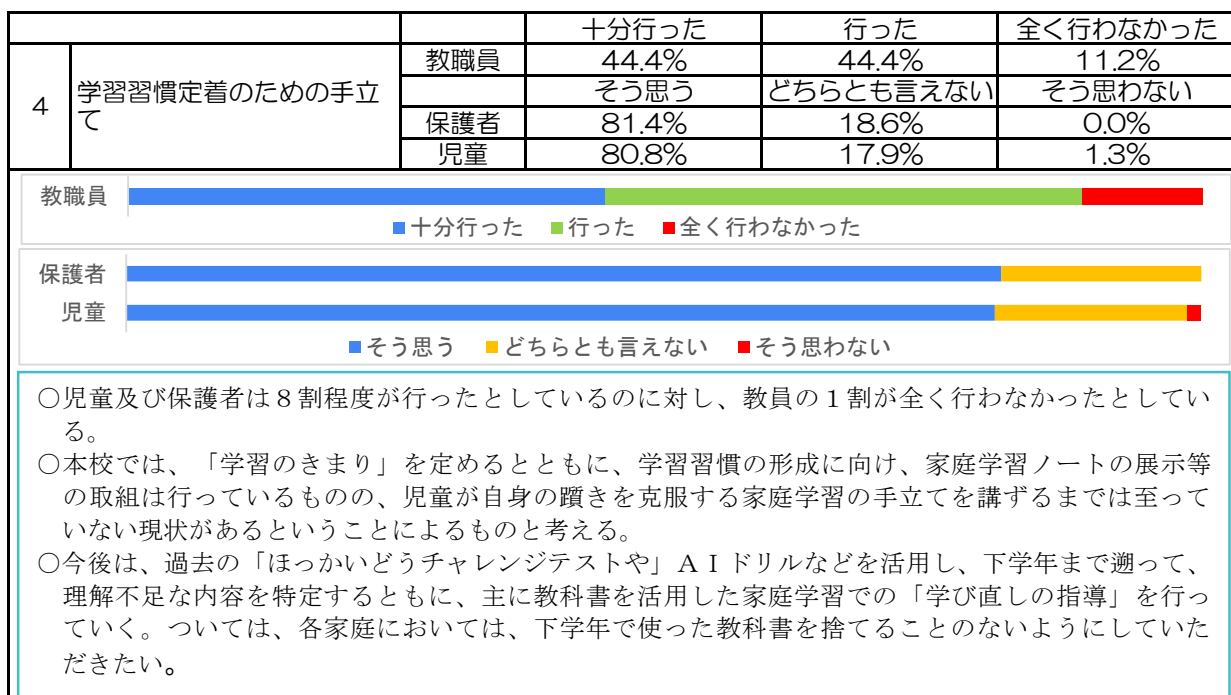
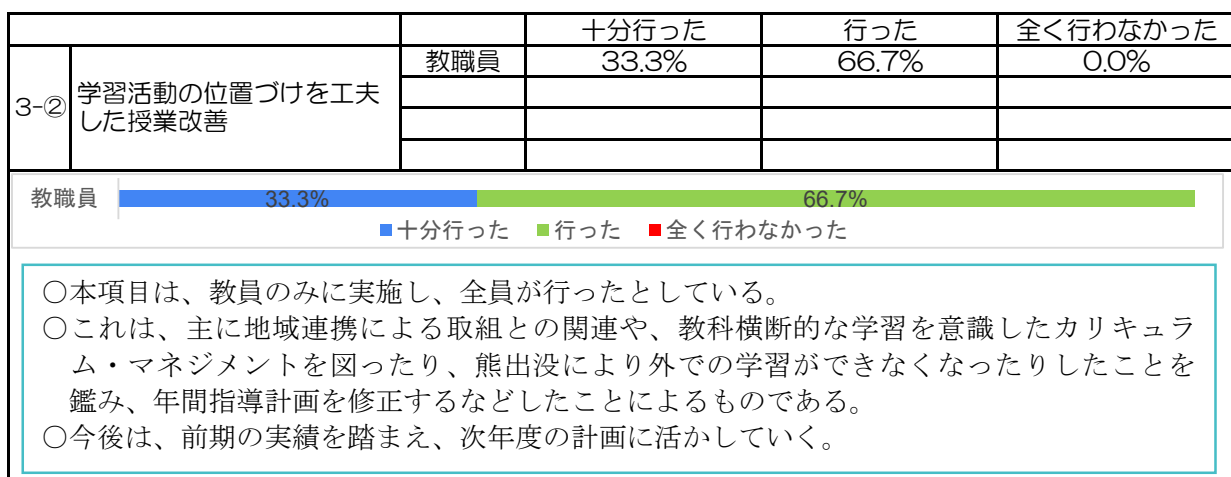
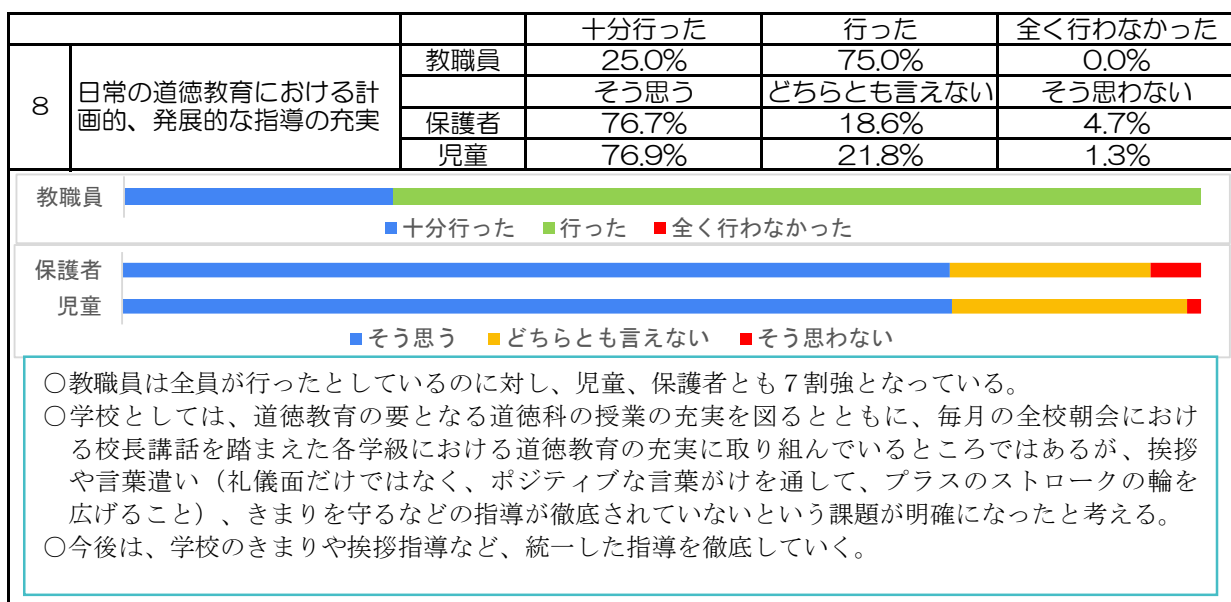
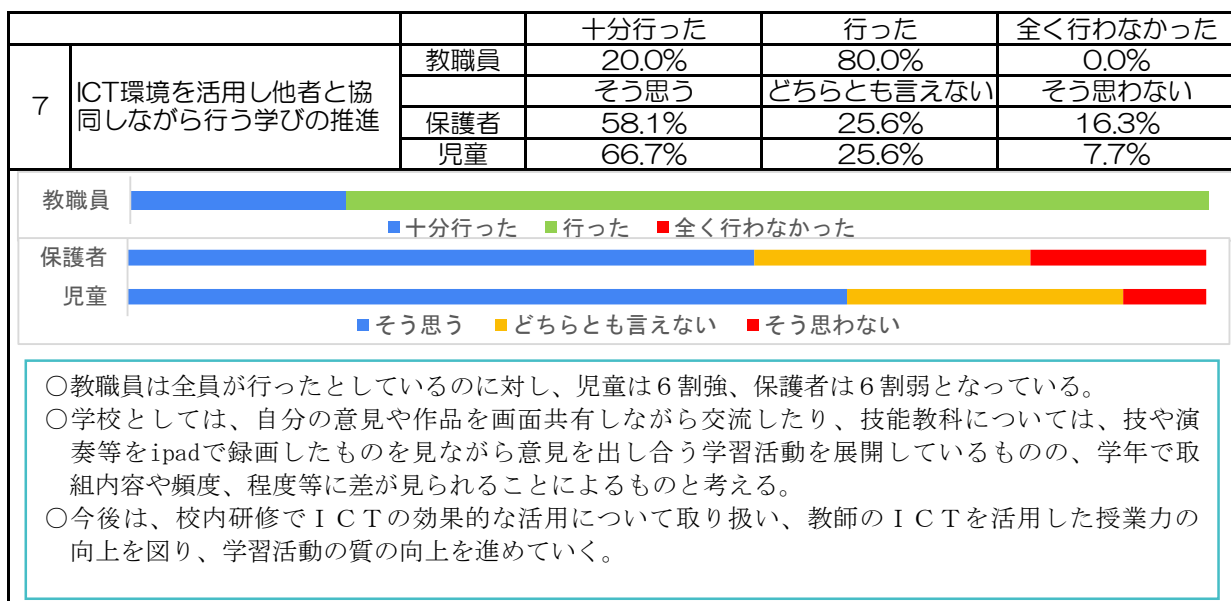
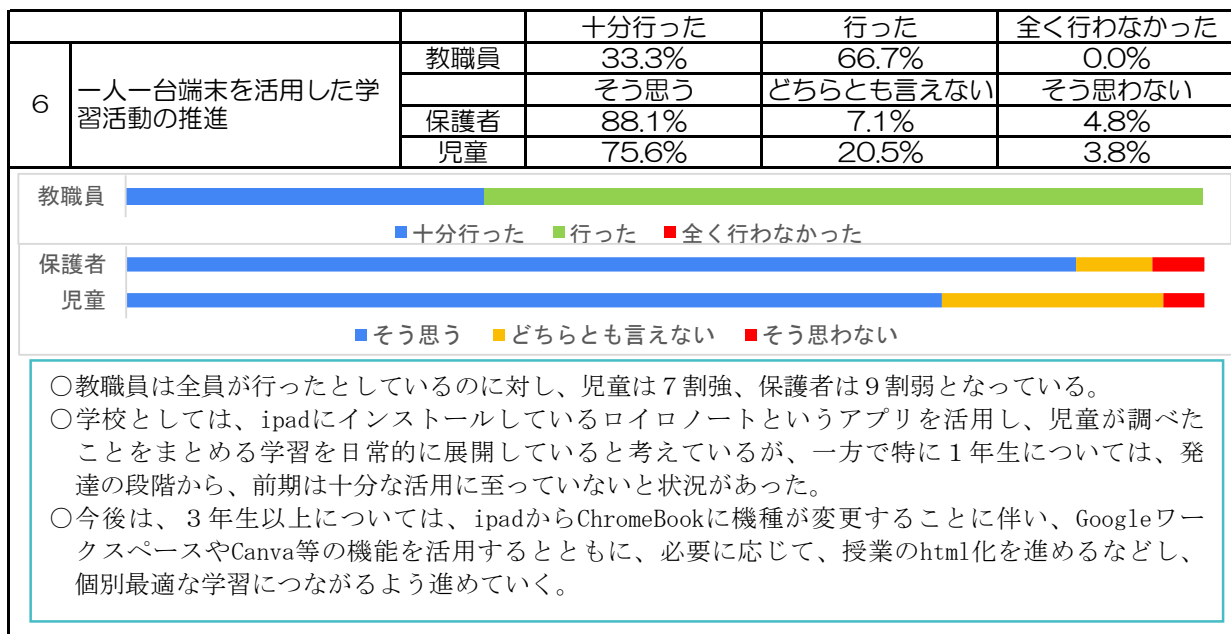
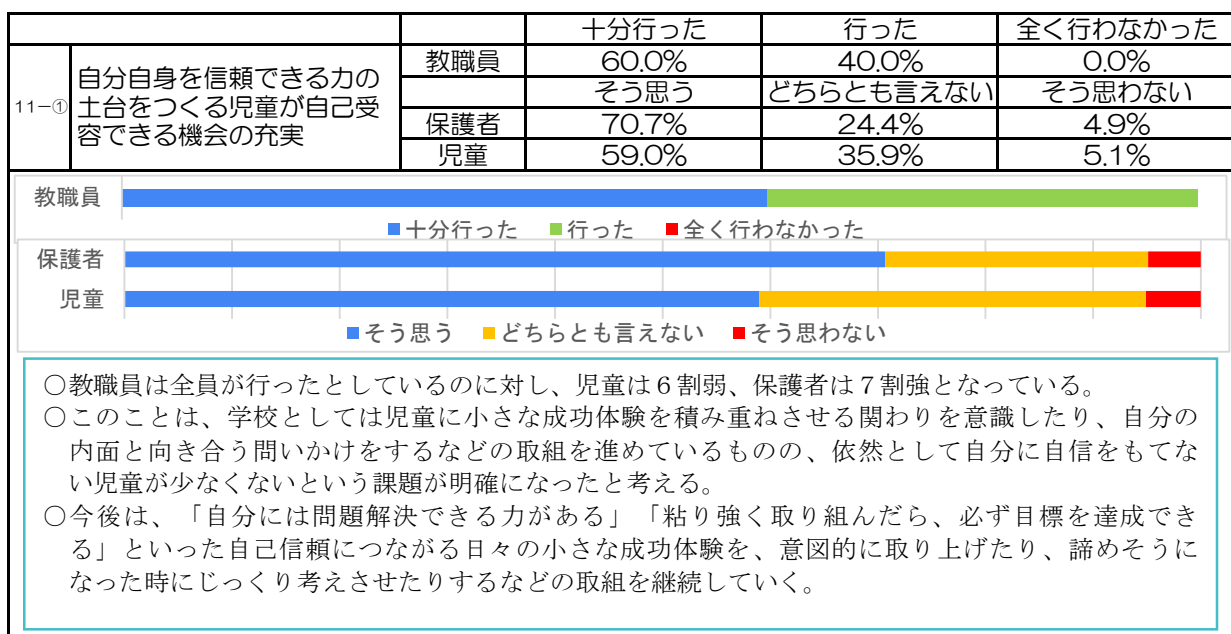
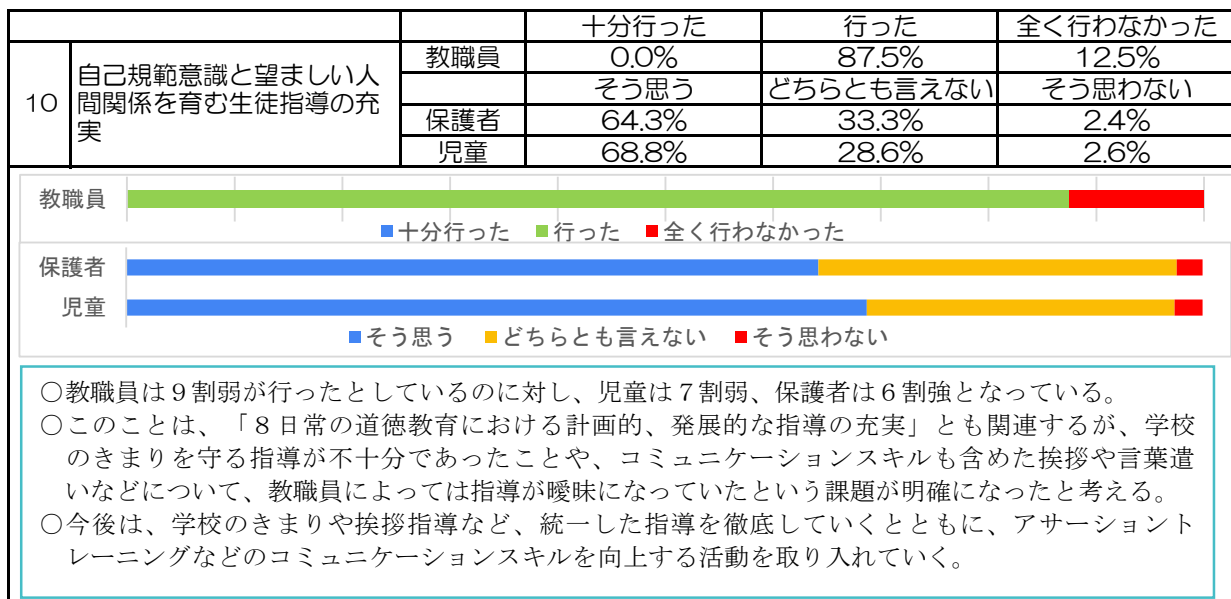
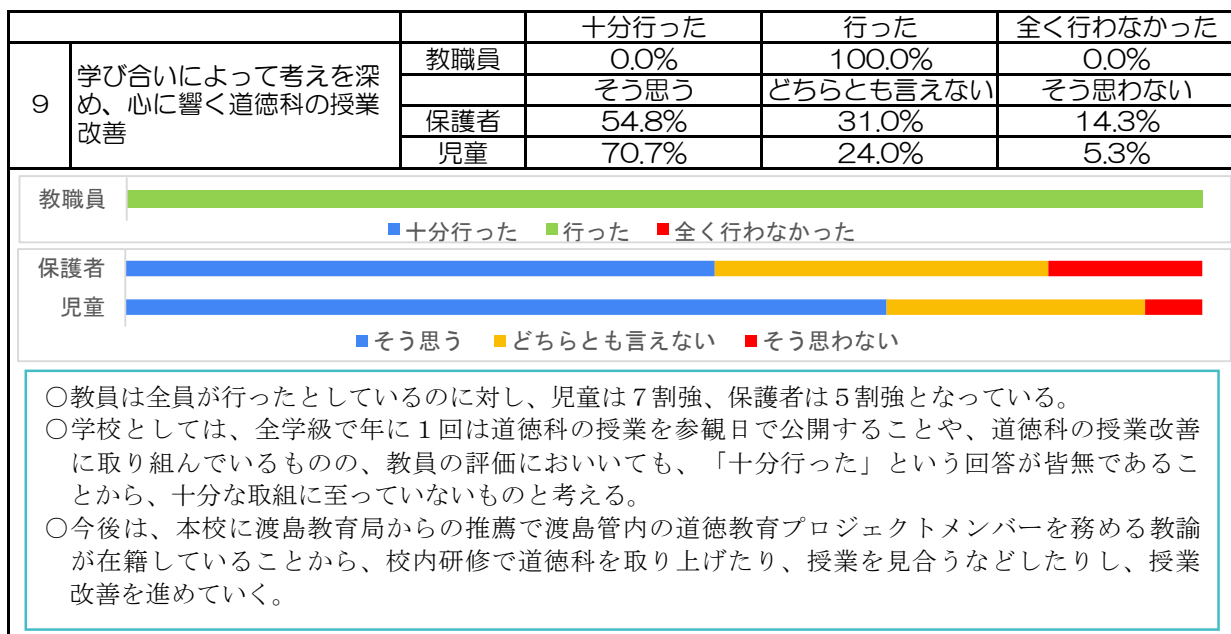


令和7年度前期学校評価 教職員・児童・保護者アンケート結果









			十分行った	行った	全く行わなかった
11-②	毎日の個人目標の設定と振り返りを徹底する日誌の取り組み	教職員	44.4%	55.6%	0.0%

教職員

■ 十分行った ■ 行った ■ 全く行わなかった

○これは教員のみの項目である。
○今年度から組織的に取り組みを始めたところだが、全学年で行ったとしている。
○一方で、十分行ったが4割強にとどまっていることから、後期は取り組み方や内容の充実を図っていく。

			十分行った	行った	全く行わなかった
12	ふるさとの魅力を知り、発信する総合的な学習の充実	教職員	33.3%	66.7%	0.0%
			そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
		保護者	75.8%	15.2%	9.1%
		児童	75.9%	17.2%	6.9%

教職員

■ 十分行った ■ 行った ■ 全く行わなかった

保護者

児童

■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない

○教職員は全員が行ったとしているのに対し、児童と保護者はともに7割強となっている。
○3年生以上は、福島町の地域素材を題材とした総合的な学習に取り組んでいるものの、そのねらいと意義を十分理解できていない児童や保護者がいるという課題が明確になったと考える。
○今後は、「何を目的として」その学習に取り組んでいるのか、また、「どんな学習成果」が見られたのかを明確にし、学年便り等で伝えていく。

			十分行った	行った	全く行わなかった
13	目標に向かった体力づくりの推進	教職員	37.5%	62.5%	0.0%
			そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
		保護者	76.2%	19.0%	4.8%
		児童	74.4%	16.7%	9.0%

教職員

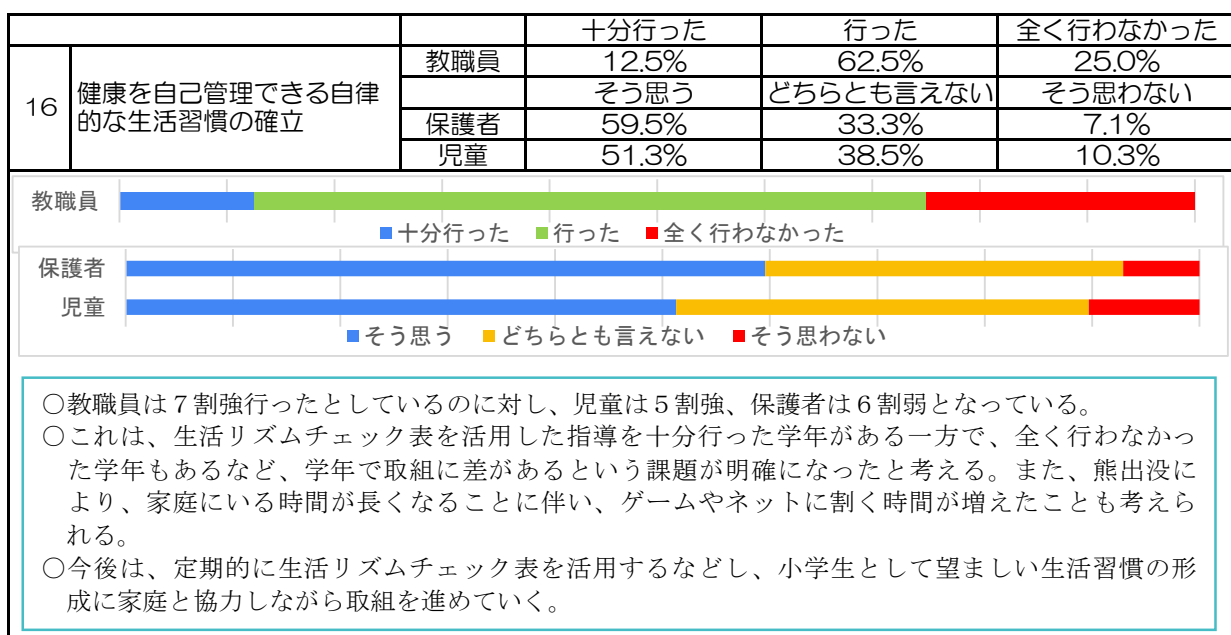
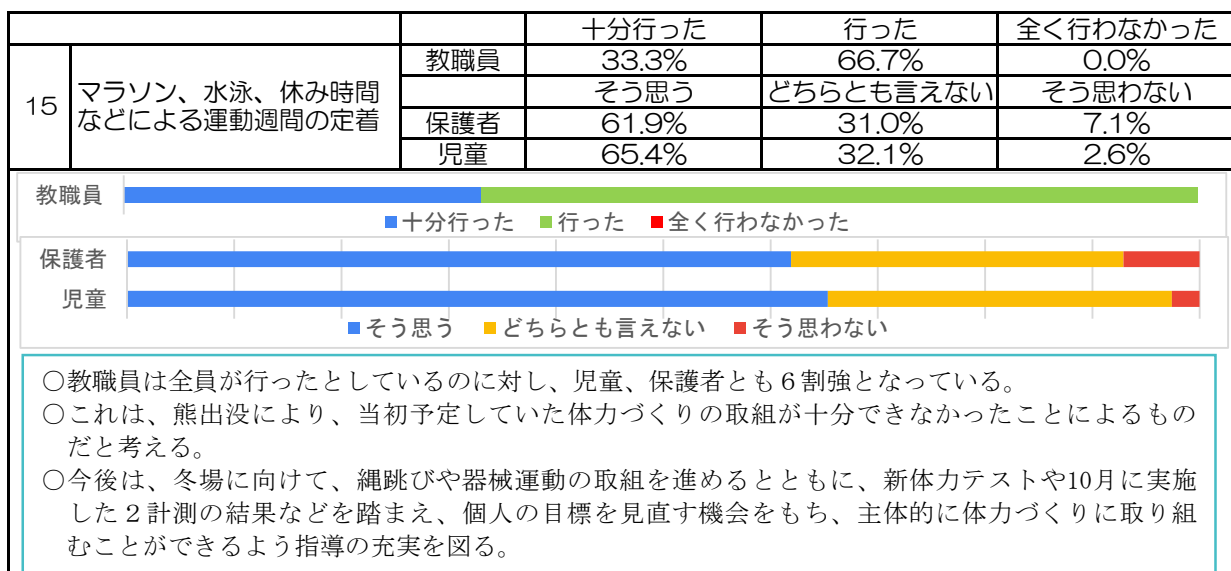
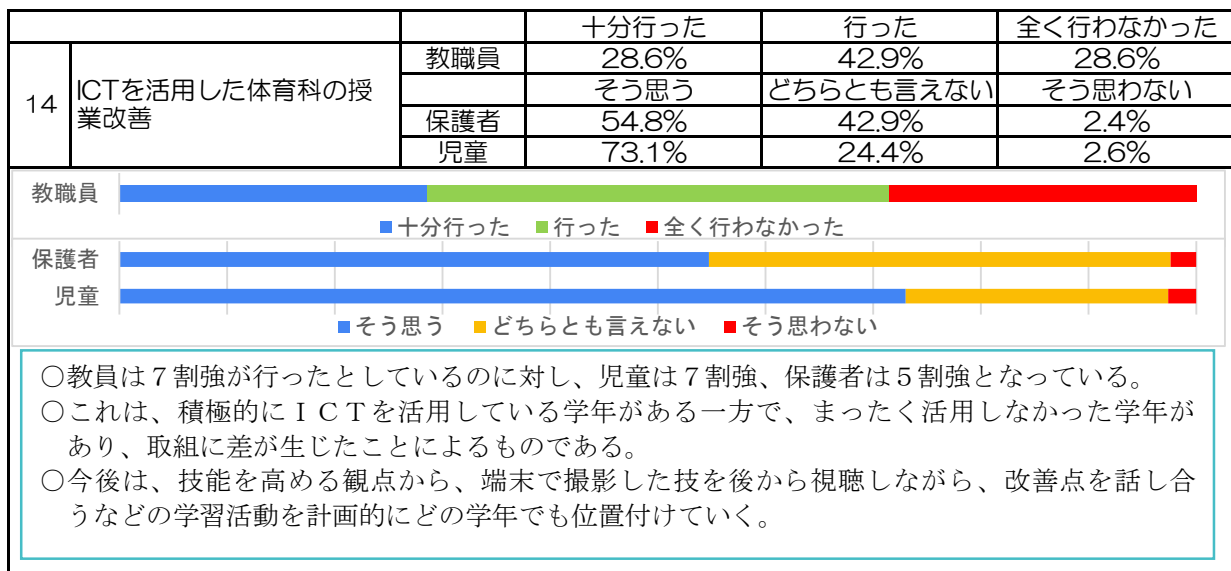
■ 十分行った ■ 行った ■ 全く行わなかった

保護者

児童

■ そう思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない

○教職員は全員が行ったとしているのに対し、児童、保護者とも7割強となっている。
○これは、新体力テストの結果を踏まえて個人目標を立てさせた一方で、自分が立てた目標を意識付けさせる指導が十分とは言えない課題が明確になったと考える。
○今後は、冬場に向けて、縄跳びや器械運動の取組を進めるとともに、新体力テストや10月に実施した2計測の結果などを踏まえ、個人の目標を見直す機会をもち、主体的に体力づくりに取り組むことができるよう指導の充実を図る。



- これは児童と保護者のみの項目である。
- 児童は9割強、保護者は8割強が思うとしている。
- これは、今年度、これまで実施していた防災学習についてを一步進めて、三年生以上については保護者や地域に発表する機会を設けたことによるものだと考える。
- 今年度、本校はアクサ・ユネスコ協会減災教育プログラムの助成校に選ばれたことから、12月には地域と連携した防災フォーラムを実施予定である。一層、取組を進めていく。

また、新しい学校教育目標で目指す子ども像として、「いろいろな考えがあることを認める子」を掲げておりますので、多様な価値や考えを認め、多面的に物事を判断できる力について、道徳科だけではなく各教科等において指導していきます。